

## 07 生きる力を育む教育の充実

- 学力、思考力、体力、コミュニケーション能力等の生きる力を育みます。
- 歴史、文化、道徳等を尊重する豊かな心を育みます。
- 特別な支援を必要とする児童・生徒への支援を推進します。

### 現状と課題

#### <学力の向上>

- 安芸高田市では、学習補助員\*を配置する等、きめ細やかな教育環境の充実に取り組み、基礎的な学力の定着に努めてきました。
- 少子高齢化、グローバル化\*、情報通信の高度化等、社会情勢が目まぐるしく変化する中、自ら課題を発見し解決する力、他者と協働するためのコミュニケーション能力等の育成が求められるようになっていきます。

#### <心の教育>

- 安芸高田市では、スクールカウンセラー\*や家庭教育支援員\*等を配置するとともに、教職員に対する生徒主導主事研修会を開催する等、心の教育相談体制の充実に努めてきました。
- 小中学校における暴力行為・いじめの児童生徒1,000人あたりの発生・認知件数や、不登校児童生徒の割合は、中学校の暴力行為を除き県平均を上回る状況となっており、子供の実態に応じたきめ細やかな指導・対応が行える環境の整備が求められています。

#### <国際教育>

- 安芸高田市では、小中学校等へのALT\*派遣等を通して異文化理解の場づくりを行い、豊かな国際感覚の醸成を図ってきました。
- 多文化共生\*の推進と世界で活躍できる人材育成に向け、引き続き国際協力の推進に取り組むことが求められています。

#### <特別支援教育>

- 安芸高田市では、教育介助員\*を配置するとともに、各学校に特別支援教育コーディネーター\*を位置づけ、特別支援教育の充実に取り組んできました。
- 発達障害のある児童生徒に対する専門家による訪問指導等を通し、児童生徒それぞれに応じたきめ細やかな指導体制の整備に努めてきました。
- 関係機関や校種\*の垣根を越えた児童生徒それぞれの継続的なフォローアップ\*体制の整備や、担当教職員の専門性の向上が求められています。



### 目標指標 (小学校)

目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
基礎学力が定着している児童の割合 (※)	73%	↗ 90%
体力・運動能力調査で県平均を超える項目数の割合	80%	↗ 90%
児童1,000人あたりの暴力行為発生件数(年計)	11件/年	↘ 減少を目指す
不登校児童の割合	0.6%	↘ 減少を目指す
特別な支援を要する児童のための教育支援計画の作成率	74%	↗ 100%

※国語・算数の平均

### 目標指標 (中学校)

目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
基礎学力が定着している生徒の割合 (※)	78%	↗ 90%
体力・運動能力調査で県平均を超える項目数の割合	72%	↗ 85%
生徒1,000人あたりの暴力行為発生件数(年計)	12件/年	↘ 減少を目指す
不登校生徒の割合	2.2%	↘ 減少を目指す
特別な支援を要する生徒のための教育支援計画の作成率	65%	↗ 100%

※国語・数学・英語の平均

#### ●学校教育の様子



## 具体的施策（公助）

### 施策24 確かな学力の向上

- 基本的な知識や技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成に加え、学習意欲・規律・習慣の確立に向けた授業改善を図ります。
- 表現力向上を目指した授業等、言語活動の充実を図る教育内容を創造することにより、コミュニケーション能力の育成を図ります。
- 学習補助員を配置し、きめ細やかな教育環境の充実に努めます。

### 施策25 健やかな体の育成

- 教育活動全体で健康教育に取り組み、児童生徒の心身共に健やかな成長を促します。
- 外遊びや中学校運動部活動を活性化することにより、児童生徒の活力と体力・運動能力の向上を図ります。

### 施策26 豊かな心の育成

- 教育活動全体で道徳・人権教育を推進するとともに、教職員の指導力向上を図ります。
- 地域体験学習等の教育活動を積極的に導入し、地域・家庭との連携を深め、郷土の伝統と文化を尊重する精神を養います。

### 施策27 国際教育の推進

- 幼稚園、小中学校に外国語講師（英語）を派遣し、異文化交流や外国語（英語）教育等を通して、豊かな国際理解感覚を醸成します。
- 会話力の向上を目指す授業により、英語学習に対する意欲と学力向上を図ります。

### 施策28 生徒指導の推進

- 家庭教育支援員やスクールカウンセラーによる教育相談体制の更なる充実により、いじめや暴力・不登校等生徒指導上の諸問題を予防・解決します。
- 適応指導教室を運営し、不登校児童生徒の学校復帰を支援します。

### 施策29 特別支援教育の充実

- 障害のある児童・生徒の進学に合わせ、本人情報の伝達等が十分に行われるよう連携を強化します。
- 教職員への計画的な研修により専門性の向上を図るとともに、個々のニーズに応じた教育環境整備の充実に努めます。
- 教育介助員を配置し、きめ細やかな教育環境の充実に努めます。



### 施策実現につなげる自助・共助

- ▶ 保護者や家族は、子供の自宅での学習や体力づくりを促すとともに、日常的に積極的なコミュニケーションを心がけましょう。
- ▶ 地域や事業者は、地域体験学習等の活動に協力しましょう。

#### ●国際教育の様子



#### ●運動会の様子



## 08 家庭・地域に信頼される学校づくり

- 学校、家庭、地域の連携による「協育」に取り組みます。
- 教職員の指導力の向上に努めます。
- 保幼小中高の連携を推進します。

### 現状と課題

#### <開かれた学校づくり>

- 安芸高田市では、学校経営の状況等の情報を発信し、学校としての説明責任を果たすべく、学校評議員制度\*、学校関係者評価制度\*を導入し、開かれた学校づくりを進めてきました。
- 各学校が実施した保護者アンケートでは、91.1%の方が学校教育に満足していると回答しましたが、家庭、学校、地域が相互に連携して子供を育ていけるよう、引き続き保護者や地域住民との連携を充実していくことが求められています。

#### <教職員の資質能力>

- 教職員の専門性の向上、職能成長を図る人材育成は、教育分野における最重要課題に位置づけられます。<sup>1</sup>

- 安芸高田市では、管理職・主任者研修等の研修機会を設けることでその向上を図ってきました。
- 教職員の服務規律について、懲戒免職等の重大事案は発生していませんが、体罰・パワハラ\*等の不祥事を未然に防ぐために、今後も管理職研修等を通じて指導を行っていくことが求められています。

#### <連携教育>

- 安芸高田市には小学校13校と中学校6校がありますが、少子化が進む中、小学校は7校、中学校は2校へと統合が予定されています。
- 小中学校9年間を見通した一貫性のある教育と、小中学校教職員の協働による基礎・基本の習得からその応用、そして自己実現に向けた取り組みを支える教育体制の構築が求められています。

### 目標指標

目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
小学校行事への保護者・地域の参加者数 (※)	2,364人	➡ 児童数×2.1人
中学校行事への保護者・地域の参加者数 (※)	1,495人	➡ 生徒数×2.2人

※「学校へ行こう週間」における参加者数



## 具体的施策（公助）

### 施策30 開かれた学校づくりの推進

- 学校・家庭・地域の連携体制の構築により、教育活動の質的向上を図ります。
- 学校公開、ホームページ等で積極的な情報公開に努めます。
- 市民や保護者等を学校評議員、学校関係者評価委員に委嘱することで、地域に開かれた学校づくりをより一層推進します。

### 施策31 教職員の資質能力の向上

- 教職員の職能成長を図る研修会を実施するとともに、外部の研修機会への参加を奨励することで人材の育成を図ります。

### 施策32 連携教育の充実

- 中学校区単位で小中連携組織を構築し、学校運営、教育内容等の連携を充実・深化させます。
- 関係部局と連携し、保幼小連携の在り方についての研究も深め、「つながる」幼児教育の充実を図ります。

## 施策実現につなげる自助・共助

- ▶ 保護者は、PTA活動や学校行事等に積極的に参加し、「協育」を進めましょう。
- ▶ 教職員は、学校間、校種\*間の連携・交流の促進に努めましょう。

### ●地域での清掃活動の様子



## 09 安全で豊かな教育環境の整備

- 就学困難な児童・生徒の解消を図り、就学の機会を保障します。
- 安全・安心で安定的な給食の提供を行います。

### 現状と課題

#### <施設整備>

- 安芸高田市における平成 25 年の児童・生徒数は、小学校 1,458 人、中学校 689 人、高校 601 人となっていますが、少子化が進む中、児童・生徒数は今後も減少していくことが予想されています。
- 学校規模適正化推進計画に基づき、小中学校の統合を進め、多くの級友と切磋琢磨しながら学び育ちあえる環境を維持する必要があります。<sup>1</sup>
- 存続する小中学校については、計画的に学校施設の修繕及び改修工事を進めます。
- また、高度化し急速に進展する情報化や国際化に対応する為、ICT\*教育環境の充実を図っていく必要があります。
- 耐震化工事は、平成 25 年度を持って計画したすべての工事を完了することができました。

### 目標指標

目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
ICTの活用により授業の理解が深まった児童・生徒の割合	—	80%



## 具体的施策（公助）

### 施策33 学校施設・設備の整備

- 経年により老朽し、学校生活に危険が懸念される施設・設備については、緊急性・優先度を判断し、改修等の迅速な対応に努めます。
- 小学校の適正配置状況を勘案しながら、中学校の具体的な配置計画を策定します。
- より良い学習環境の実現へ向けて、必要な備品の整備・更新を計画的に推進します。

### 施策34 情報教育推進のための基盤整備

- 情報化や国際化に対応できる人材の育成とICT教育環境の充実へ向けて、情報機器の更新や通信インフラの整備等を推進します。
- 教職員用情報機器の適正な運用を図るとともに、人的セキュリティの強化に努めます。

### 施策35 就学援助の適正な執行

- 就学援助、就学奨励及び市奨学金制度の適正な運用により、低所得世帯等への経済的支援を行い、就学困難児童生徒の解消を図り、就学の機会を保障します。

### 施策36 給食センターの円滑な運用

- 給食センターの適切な設備・機器管理を行い、衛生的で効率的な運営に努めます。
- 安全・安心で安定的な給食の提供を基として、特色のある伝統食や健康に配慮した献立の導入等、地産地消を推進しながら魅力ある給食づくりに努めます。
- 食中毒を防止するため、講習会や研修会へ積極的に参加し、衛生意識の向上を図るとともに、日常点検や定期点検を励行します。

## 施策実現につなげる自助・共助

- ▶ 市民や地域は、小中学校の規模適正化に関する検討に参画しましょう。



## 10 生涯学習活動の充実

- 多様な学習ニーズ、現代的課題や地域課題に即応する学習機会の提供に努めます。
- 一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に取り組みます。
- 芸術文化・スポーツ活動を支援し、健康で文化的な生活の実現に努めます。

### 現状と課題

#### <人権教育・人権啓発>

- 基本的人権は日本国憲法に定められた、侵すことのできない永久の権利ですが、今も身分、門地、人種、民族、信条、性別、障害があること等に起因する様々な課題が存在しています。
- 一人ひとりの人権が尊重される社会の実現がより一層求められています。

#### <成人教育>

- 社会の急激な変化に伴い、住民の学習欲求は多様化し、様々な現代的課題や地域課題が顕在化しています。
- 心豊かな生活の実現に向けて、多様な学習ニーズに即した学習機会の提供、そして、防災・環境等の現代的課題や、地域課題の解決に向けての住民の学習意欲の喚起が求められています。

#### <青少年教育>

- 過疎化・高齢化が進行する中、青少年教育への期待はより高まっています。
- 家庭・学校・地域による連携のもと、子供同士の外遊びや創作活動等の経験機会の充実等を通して、次代を担う青少年を健全に育成していくことが求められています。

#### <家庭教育>

- 核家族化、都市化の進展等により、家庭の教育力の低下が問題になっています。
- 食事、就寝時間等、基本的な生活習慣、社会性、規範意識等を確実に身につけることが求められています。

#### <スポーツ活動>

- 安芸高田市では、「一人1スポーツ」の推進に向け、子供から高齢者まで、広く市民がスポーツに親しめるよう、様々なスポーツ関連団体への自立支援を進めています。
- 今後もスポーツ人口の裾野拡大に向けた取り組みが求められています。

#### <文化芸術活動>

- 市内では、様々な団体・グループが文化芸術活動を行っており、今後も心豊かで生きがいを持てるよう、継続的に文化芸術活動を支援していくことが求められています。
- 多くの団体・グループで構成員の高齢化が進んでいることから、団塊の世代等への啓発をはじめ、新たな文化芸術活動を推進していく必要があります。



### 目標指標

目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
生涯学習講座への参加者数 (年計)	6,097人	7,000人
毎日朝食をとる児童・生徒の割合	95.8%	97%
人権講演会・講座への参加者数 (年計)	2,582人/年	3,000人/年

#### ●市民セミナー「こけ玉づくり講座」



#### ●夏休み子ども教室「ロボットワークショップ」



## 具体的施策（公助）

### 施策37 人権教育・人権啓発の推進

- 市民一人ひとりが相互の人権を尊重し、共存を図っていくという人権尊重の理念が日常生活の中で根付くよう、人権啓発に努めます。
- 参加体験型学習プログラムの普及を図り、「学びあい」「気付きあい」の中から参加者一人ひとりの行動変容が生まれるよう人権教育の取り組みを推進します。

### 施策38 成人教育の推進

- 多様化した市民の学習欲求に対する学習機会の提供の充実に加え、少子高齢化、環境問題、防犯・防災等、現代的課題や地域課題解決に向けての学習機会の提供に努め、また、学習した成果を地域社会に活かす取り組みを推進します。

### 施策39 青少年教育の推進

- 心豊かでたくましい子供を社会全体で育むため、放課後や週末等を活用して、社会奉仕活動や自然体験活動等様々な学習機会を青少年に提供します。
- 安芸高田市PTA連合会や子ども会連合会、青少年育成安芸高田市民会議との連携を通して、学校・家庭・地域が一体となって子供を育てる環境の充実に努めます。

### 施策40 家庭教育支援の充実

- 親としての役割や責任の自覚、子育ての知識、子供の基本的な生活習慣の定着や自立心の育成といった視点の他、生命の尊さや他人との共生・共感の大切さ等の視点も重視しながら、保護者等を対象とした学習機会を充実します。

### 施策41 文化芸術活動の推進

- 市民の自主的な文化活動を支援するとともに、市民文化祭等を開催し、市民が気軽に文化活動ができる場や機会の提供に努めます。

### 施策42 優れた文化芸術の鑑賞機会の充実

- 文化センターを活用し、音楽・演劇等の鑑賞機会の拡充を図るほか、八千代の丘美術館の展示内容の充実に努め、市民が優れた芸術文化に親しむ機会の提供に努めます。

### 施策43 スポーツ活動の推進

- 市民が健康で楽しく、生きがいを感じられるよう、スポーツに親しむ機会を提供するとともに、自主的なスポーツ活動及びスポーツ関係団体の自立を支援し、スポーツ活動への参加を促進します。



### 施策実現につなげる自助・共助

- ▶ 豊かな人生を送るため、生涯にわたり様々な学習活動に積極的に取り組みましょう。
- ▶ 家庭生活を通じて、社会での振る舞いや基本的な正しい生活習慣を子供に伝えましょう。
- ▶ 日常的に親しめるスポーツ活動に取り組みましょう。
- ▶ 子供の健全育成について、地域ぐるみで取り組みましょう。

#### ●あきたかた市民文化祭（舞台芸能の祭典）・

けんみん文化祭芸北地区フェスティバル（安芸高田会場）



#### ●子どもカヌー教室



## 11 生涯学習環境の充実

- 適正で効率的な施設管理と運営に取り組みます。
- 市民による拠点施設、スポーツ施設の積極的な活用を促します。

### 現状と課題

#### <生涯学習拠点施設>

- 市民の多様な芸術文化活動の場、優れた芸術文化に触れあう場、市民の世代間交流や地域住民の交流の場等、市民の生涯学習の拠点施設として、各町1館の文化センターを整備しました。
- 各施設の老朽化に伴い、長寿命化を視野に適正かつ効率的な維持管理が求められています。
- 少子高齢化により利用者の高齢化も進み施設利用が伸び悩む中、新たな魅力ある施設活用の発信等、各地域のまちづくりのプラットフォーム\*としての魅力ある運営が求められています。

#### <図書館>

- 市民の読書活動の推進を図り、教養を深めるため、学びの拠点施設として吉田町の中央図書館を中心に各町1館の公立図書館を整備しました。↑

- 各館とも図書資料の更なる充実と、市民の知る欲求に応えるレファレンス機能\*が求められています。

#### <スポーツ施設>

- 市民のスポーツに親しむ場、健康増進の場として、吉田運動公園、吉田サッカー公園、吉田温水プール、B&G 海洋センターをはじめ、各種グラウンド等を整備しました。
- また、市内小中学校の体育館・グラウンド施設についても、スポーツ活動への利用開放に取り組んでいます。
- 吉田運動公園・サッカー公園等主要体育施設は、指定管理者制度\*を導入し民間の経営感覚を取り入れた維持管理運営を行っていますが、施設の老朽化が進み、施設修繕・改善や長寿命化への対応が求められています。

### 目標指標

目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
生涯学習拠点施設の利用者数 (年計)	181,654 人/年	➡ 200,000 人/年
図書館の貸出利用者数 (年計)	57,521 人/年	➡ 65,000 人/年
スポーツ施設の利用者数 (年計)	397,713 人/年	➡ 430,000 人/年



## 具体的施策（公助）

### 施策44 生涯学習拠点施設の充実

- 各文化センター及び八千代の丘美術館は、生涯学習の拠点施設として目的が達成できるよう適切な運営に努め、利用者・入館者の増進に取り組みます。
- 老朽化による経年劣化が進む中、施設・設備については、緊急性・優先度を考慮し、迅速な改修及び長寿命化への対応を行います。

### 施策45 図書館の充実

- 蔵書の整備について、市民ニーズと公立図書館の使命を踏まえ計画的に整備・更新していきます。
- 図書館システムを計画的かつ効果的に更新し、利用者の利便性向上、本館・分館の一体的な運営、県内図書館との連携を図っていきます。
- 「子供の読書活動推進計画」に基づき学校と連携を図り、児童生徒の読書活動を推進します。

### 施策46 スポーツ活動を支える環境づくり

- 施設・設備及び運営面の改善を図り、利用促進に努めます。
- 老朽化による経年劣化が進む中、主要なスポーツ施設については、緊急性・優先度を考慮し、迅速な改修及び長寿命化への対応を行います。
- 公共施設の配置状況を勘案しながら、深刻な老朽化が進む小規模な設備や、利用頻度の低い施設については施設の統廃合を含め適正な配置を進めます。

## 施策実現につなげる自助・共助

- ▶ 市民は、積極的に文化センター、図書館、スポーツ施設等を利用しましょう。